



地元企業の協賛もあり大盛況だった「ふれあいHAPPYハロウィン」。会場には、仮装した人たちの姿も多く見受けられました。

大津のことがもっと好きになる情報誌

# 広報 おおづ

1  
JANUARY 2020



昨年の11月21日、22日に開催されたまちづくり懇談会で発表を務めた、各地区の皆さん(詳細は4-5頁)

## 「私たちの役目は 地域活性化の起爆剤です」

肥後大津駅周辺活性化事業実行委員会

にしかわ ひでつぐ  
会長 西川 秀貢さん



令和元年11月27日に行われた点灯式での一枚(西川さんは右から5番目)

広報 おおづ  
2020 1

発行・編集 ■大津町・総務課  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233番地  
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100 印刷 ■ホーテ印刷株式会社  
※広報のおおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使用しています。

UD FONT  
見やすくて読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

肥後大津駅南口がつつじ色に光り輝く。平成29年から続く肥後大津駅周辺活性化事業実行委員会がイルミネーションを設置し、住民や観光客の目を惹きつける。今回は、代表して会長の西川秀貢さんにクローズアップする。

普段は商店街で瓦工事・リフォーム業や飲食店を営む西川さん。若い頃から祭りやイベントなどの手伝いを「地域のために」と行ってきた。そんな中、肥後大津駅周辺活性化事業実行委員会の話がくる。しかし、最初は乗り気にはならなかった。新しくできた団体で結果を出す難しさを知っているからだ。しかし、商店街の仲間と話をした結果、「一度やってみよう」と挑戦することに決めた。

会議の中、クリスマスに電車を使って町に帰ってきた子どもたちが、駅前の暗い中、プレゼントを交換していた光景を思い出した。駅周辺を明るくして、子どもたちがわくわくする場所にしたいと考え、イルミネーションを提案。デザインは若者の意見を取り入れたいと、町の高校生にも参加してもらった。事業に参加することで町に愛着を持ってもらいたかったからだ。他にも、昨年度の桜の植樹やつつじの植栽は保育園児と一緒にいった。商店街独自のイベント「ふれあいHAPPYハロウィン」では経費を町の補助金に頼らず、地元ボランティアによって賄い、多くの来場者を得た。「できない理由を考えるのは簡単。実際やってみてから改善することも必要」と語る。一番の挑戦は、住民が主体のまちづくりだ。

一方で気にかかるのは、町内イベントに携わる顔ぶれが固定されていることだ。これからのまちづくりの鍵は、いかに若手を育成するかだ。一点、地域のために頑張ろうと思っている人は数多くいる。その人たちの心に火をつけることが私たちの使命だと思ふ。駅前のイルミネーションを皮切りに町の未来を照らしていきたい。西川さんたちの挑戦は続く。

### からいもくん便り

大津町総合情報メール  
携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

▼あけましておめでとうございます。今月号に掲載しているまちづくり懇談会(4・5頁)やクローズアップ大津人(28頁)を取材する中で、地域の皆さんのパワーを感じさせていたが、私にも負けないように広報作りに励みますのでよろしくお祈りします(睦)

▼あけましておめでとうございませう。昨年はいろいろなことがありましたが、今年は何もかもオリンピックが開催されます。日本選手の活躍を応援される人が多くと思われる中で、何事も無く平和に無事に終わる事を祈っているのは私だけでしょうか。今年も「広報おおづ」をよろしくお祈りします(HN)

ついでの声